

(中国乙12)
細菌性・アメーバ性赤痢
発生推移
= 2024年10月度 =

発表: 2024年11月20日 国家NDPCA

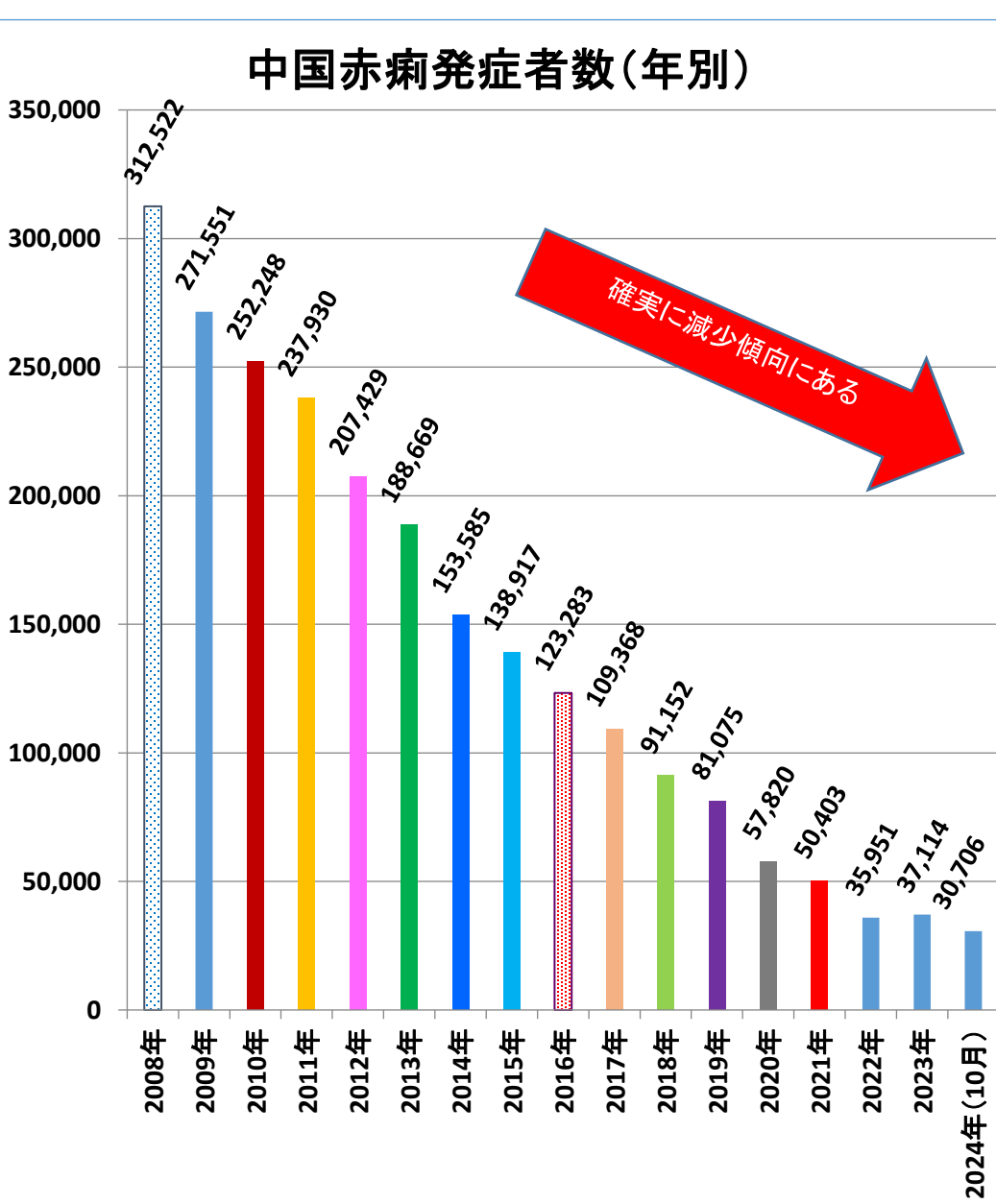
作成: 2024年11月22日
日中医療衛生情報研究所

細菌性・アメーバ性赤痢

- 患者発生のピーク期は夏場の7～9月
- 年間患者発生数は、2008年から年々減少しており、2016年9月から2021年1月まで53カ月連続で月間発症者数の『過去最低記録』を更新。その後、2021年5月からまた過去最低記録更新始まり減少傾向に
2015年は138,917人、2016年は123,283人、
2017年は109,368人、2018年は 91,152人、
2019年は 81,075人、
2020年は 57,820人(**コロナの影響？**)
2021年は 50,403人、2022年は 35,951人、
2023年は 37,114人だった。

乙12：細菌性・アメーバ性赤痢

中国赤痢発症者数(年別)



中国赤痢死亡者数(年別)

